

キャリアパスの例

ステップ7

保健所長(大規模保健所の所長) (次長級)

ステップ6

本庁の課長 (課長級~次長級)

ステップ5

保健所長(県内各地域をローテーション) (課長補佐級~課長級)

ステップ4

保健所勤務(保健所全般業務を経験) (課長補佐級)

ステップ3

本庁勤務(主査級)【担当業務】健康危機管理、健康づくり、医療政策等の業務

ステップ2

保健所勤務(同じ保健所内で業務内容を変えて勤務) (技師級~主査級)

ステップ1

保健所勤務(技師級) 【担当業務】健康づくり、感染症予防、地域保健等の業務

○ このキャリア・パスは研修医あるいは大学卒業後数年で採用された場合のモデルケースであり、公衆衛生の経験者を採用する場合には、この限りではありません。

○ 本庁での勤務については、必ずしもこのモデルケースに限定するものではなく、ステップ1~7の期間(その前後を含む。)で柔軟に対応します。